

優秀賞

気山小学校4年

 **深川幸希**さん

●研究テーマ

気山で見れた野鳥たち

動機

三方五湖の湖の一つである久々子湖は、シギやチドリなどめずらしい野鳥が来る場所です。ぼくはこの鳥達がいっわたって来るのかやその行動について調べました。

内容

久々子湖では、1年間で21科99種類の野鳥を観察することができました。特に、シギ・チドリ類が多い湖で、チドリは7種類、シギは17種類を確認することができました。福井県内でこんなにシギ・チドリが観察できる場所は久々子湖しかありません。

トウネンは、わたり鳥で毎年春と秋にきます。春は5月ごろ、秋は9月から10月ごろに見られます。しかし、今年は、7月に見ることができました。この時期に見ることができたのは初めてで、地球温暖化の影響ではないかと心配しています。今、久々子湖畔では田んぼのうめ立て工事が行われていますが、今年もきちんと来てくれました。きっとこの場所をおぼえてくれているのだと思います。

まとめや感想

久々子湖の鳥の多さは環境がよいからだと思います。特に守波西川河口の砂浜や湖の横の水田には、四季によってサギやシギなどさまざまな鳥を見ることができました。また、ケリやコチドリが小学1年から観察してきて初めて巣を作りました。今後も観察ポイントをしぼって観察し、なぜ、その場に多く集まるのか原因を考えたいと思います。

優秀賞

敦賀北小学校5年

 **藤田悠輔**さん

●研究テーマ

ペットボトルロケットをもっと遠くにまっすぐ飛ばす方法

動機

去年の自由研究で500ml ペットボトルロケットを30m飛ばすことができた。今年は1.5ℓ ペットボトルを使って去年の記録をこえたいと思った。

内容

去年の実験を参考にして①1.5ℓ ペットボトルロケットで60m以上飛ばす②なるべく真っ直ぐ飛ばす—を研究の目的にした。去年の反省点から①発射台の改良②リモコンの追加③尾翼の改良④ロケット先端の改良⑤ロケットの組み立て方法—をお父さんといっしょに考えて準備した。試験では去年の研究で分かった水の量、発射角度を参考にして①短いロケットで尾翼が小さいもの(パターン1)②短いロケットで尾翼が大きいもの(パターン2)③長いロケットで尾翼が小さいもの(パターン3)④長いロケットで尾翼が大きいもの(パターン4)を3回ずつ行い、一番遠くへ真っ直ぐ飛ぶロケットの条件を調べた。試験の結果、パターン1が去年の2倍以上の66m飛び、研究の目的を達成することができた。でも左に曲がりやすく真っ直ぐに飛ばなかった。真っ直ぐ飛んだのはパターン3だった。

まとめや感想

ロケットを遠くへ飛ばす方法は2年間の研究の積み重ねでわかったけれど、真っ直ぐ飛ばす方法がまだわからない。来年は目標地点に落下するロケットを飛ばす方法を調べたい。今年も研究方法や試験を手伝ってくれたお父さん、ありがとうございました。